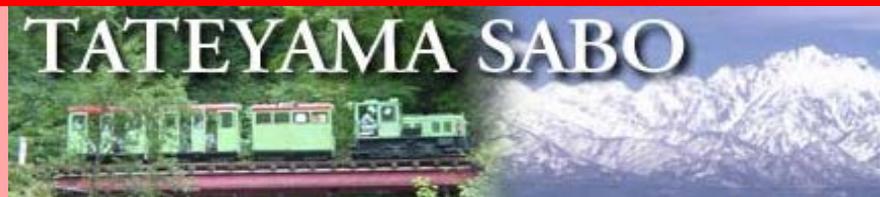


砂防講演会を開催！



毎年6月は「土砂災害防止月間」です。立山砂防事務所では、「土砂災害防止月間」にあわせて、土砂災害の恐ろしさや土砂災害の防止、砂防事業の必要性・重要性について、地域の皆様に理解を深めて頂くため「砂防講演会」を開催しました。

日時：平成30年6月16日(土) 10:10~12:10
場所：オークスカナルパークホテル富山 鳳凰東中の間
参加数：約180人

◆プログラム◆

開会挨拶 立山砂防事務所長 大坂 剛

○講演1 「砂防施設と文化財について」

北河 大次郎 氏

(国立文化財機構東京文化財研究所保存科学研究センター 近代文化遺産研究室長)

○講演2 「世界の宝物に心惹かれて！」

吉友 嘉久子 氏 (立山砂防女性サロンの会シニアアドバイザー)

○講演3 「地域が主役の砂防 - 2 ~地域を元気にしていく砂防の取り組み~」

今井 一之 氏 (国土交通省 砂防部 砂防計画課長)

主催：国土交通省立山砂防事務所、立山砂防女性サロンの会



講演1：北河 大次郎 氏

○講演1

文化財の指定・登録説明や砂防史上の位置づけを話すだけでは、必ずしも共感の輪は広がらない。インフラ・文化財の多岐にわたる価値を掘り起し、人々が主体的に関わることが重要である。事業者側も多様な主体と連携して取り組むことで、立山砂防の新たな価値を創出できる。



講演2：吉友 嘉久子 氏

○講演2

立山砂防女性サロンの会は、自然災害への危機感を持ち、砂防事業の重要性を広めることを目的として立ち上げた。これまで国内砂防や被災地の視察、海外研修等を行い50件の世界遺産を訪問してきた。立山砂防の世界遺産登録推進に向けて今後も「オッカチャン」として活動していきたい。



講演3：今井 一之 氏

○講演3

多くの地域で砂防施設が観光資源として活用されている。立山砂防においても地域の方々と連携して防災学習等を行い、地域を元気にしていく砂防の取り組みがなされてきた。新しい公共を担う人々として、行政機能の代替や補完となる地域の方々の取組がとても大切である。



会場の様子



開会挨拶：大坂 事務所長



砂防パネルを展示